

NPO法人全日本聴覚障害スキー指導員会

平成25年度 第10回定期総会議案書

日時 平成25年7月13日(土)～14日(日)

場所 京都府京都市 13日 ひと・まち交流館京都 3階第5会議室
14日 京都市聴覚言語障害センター 1階地域交流室

宿泊 ホテル近鉄京都駅

～スケジュール～

7月13日(土)

10:00～12:00 理事会

12:30～13:00 受付 入会費・年会費の受付

13:00～15:00 総会

この総会資料は、忘れずに持参ください

1. 開会通告

2. 会長挨拶

3. 総会議長選出

4. 議事録署名人選出

5. 書記の指名

6. 定足数確認

7. 審議事項

第1号議案 平成24年度事業報告

第2号議案 平成24年度収支決算報告及び監査報告

第3号議案 平成25年度事業計画案

ここから新会員の挙手OK

第4号議案 平成25年度収支予算案

第5号議案 平成25～26年度 理事・監事改選

《休憩 14:30頃を目安に》

8. その他

9. 閉会通告

10. 事務連絡(新入会員紹介、準・正指受検者紹介、来年度総会場所の紹介)

11. 閉会の挨拶

15:15～17:00 分科会 はじめに書記と翌日の報告者を決めます

【分科会テーマ】

(1) 第6回デフわんぱくスキー教室報告会(ビデオを見ながら)

(2) NPO法人10周年を迎えて、ディスカッション

7月14日(日)

9:00～11:30

懇親会・ディスカッション ... 全員

その他(来年度行事のPR、再来年の総会場所決定ほか)

～分科会後のスケジュール～

17:00～

京都駅へ移動

宿泊者はホテルチェックイン

18:30～20:30

夕食/交流会

がんこ京都駅前店

20:30～

地下鉄で移動し、

祇園祭宵々々山見物

23:30 ホテル着

平成24年度 事業報告書

平成24年 6月 1日から平成25年 5月31日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

1. 事業の成果

当年度は、（1）聴覚障害者のスキー技術の向上を図る為、第10回西日本ブロックスキー講習会を実施、第16回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会を開催しました。（2）聴覚障害児のスキー普及活動の促進を図る為、昨年に続きスキー教室への講師を派遣しました。（3）聴覚障害者へのスキー啓発・広報を目的として、以前から継続しているホームページを通じて活動の紹介や情報の提供をしました。以上の3点を重点課題として下記の事業に着手しました。

（1）の聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業のうち、「第10回西日本ブロックスキー講習会」は継続事業として鳥取県だいせんホワイトリゾートスキー場で開催しました。西日本在住の児童・生徒も含め参加者を募り、昨年に引き続き西日本のデフわんぱくスキー教室を兼ねて実施しました。節目となる10回目を迎えた今回は例年に比べ参加者が増え、過去最高の参加者数となったため指導スタッフも増員しました。この冬西日本は記録的な降雪があり、会場となった鳥取県だいせんホワイトリゾートスキー場も豊富な積雪と、西日本としては貴重な質の良い雪を天の恵みとして、多様な指導内容を展開することができ、受講者のスキー技術習得にとって大いに助けとなりました。また、良質な雪による好条件は指導者の指導バリエーションの幅を広げ、指導者にとっても指導力アップの機会となりました。

聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業のもう一つ「第16回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会」を2月24日に開催しました。全国大会として、より広範囲な地域からの参加がし易いよう、慣れ親しんだ長野県菅平高原スキー場から、西日本地域からの交通の便が良い長野県Mt乗鞍スキーリゾートに開催場所を移しました。会場の変更に伴い、今回のジャッジは当法人の検定員3名と、地元のスキー学校からベテランインストラクター2名をジャッジに加え、現地を熟知しているインストラクターに各種目の前走を務めていただきました。初めての開催場所となり、参加者においてもジャッジにおいても不慣れな競技バーンであったため、競技前のデモンストレーションとして最適な人選となりました。

（2）の聴覚障害児を対象としたスキー教室については、主催事業として継続開催しているデフわんぱくスキー教室を1月の3連休に昨年度より一日長い日程で実施しました。日程が長くなっただけでなく参加者も増え、当日の運営に従事したスタッフの負担は、前年度を上回るものとなりました。今回の事業で何より困難な状況を招き、参加者とスタッフに多大なる負担となったのは、最終日に関東地方を襲った記録的な大雪の影響で高速道路が閉鎖され、復路の行程が予定時間を大幅に超過したことでした。最長約18時間にも及ぶバスでの移動・渋滞待機は参加者とスタッフだけでなく、参加者の保護者に対しても多大なる負担をかけることになりました。渋滞の中、先の見えない状況で参加者の食事やトイレの確保を調整しつつ、保護者への状況報告をする際、ツイッターやフェイスブックを活用しての連絡を予め用意していたことは、今回のような最悪な状況においても大変有効に活用できました。最終日の困難とは別に、本来の事業目的であるジュニア層に対しスキーの楽しさを伝えること、自然に親しむこと、親元を離れ集団で生活する経験に関しては十分な成果をあげることができました。予定を大幅に変更し、保護者にも大きな負担をかけたにも関わらず、運営に対する批判は寄せられませんでした。経験を積んだスタッフの実績に裏づけされた対応が、保護者からの信用に繋がっていることを実感することができました。

継続事業となっているろう学校スキー教室派遣事業は、昨年に引き神戸聴覚特別支援学校スキー教室が兵庫県アップ神鍋スキー場で開催され、高等部の生徒に対し4名の講師を派遣しました。岡山ろう学校スキー教室は鳥取県だいせんホワイトリゾートスキー場で開催され、高等部の生徒8名を対象に3名の講師を派遣しました。

（3）聴覚障害者へのスキー啓発・広報の活動としては、スキー用語手話の活動実績はありませんが、（財）全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が確定した技術スキーのサイン用語（63単語）を、引き続き当会のホームページに掲載し不特定多数の方に活用してもらっています。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
スキー指導に関する事業	第6回 デフわんぱくスキー教室	1月11日 ～1月14日	長野県 菅平高原スキー場	39名	全国の聴覚障害児の 69名	3,879
同上	神戸聴覚特別支援学校 スキー教室派遣	2月3日 ～2月5日	兵庫県 アップ神鍋スキー場	4名	神戸聴覚特別支援学校 高等部 15名	0
同上	川崎ろう学校中等部移動教室	実施せず				0
同上	第10回 西日本ブロックスキー講習会 (兼デフわんぱくスキー教室)	2月9日 ～2月11日	鳥取県 だいせんホワイト リゾートスキー場	12名	西日本在住の聴覚障害 児・者の48名	1,021
同上	岡山ろう学校スキー教室	1月30日 ～2月1日	鳥取県 だいせんホワイト リゾートスキー場	3名	岡山ろう学校 高等部 8名	0
全日本聴覚障害 スキー技術選手権 大会の開催事業	第16回 全日本聴覚障害スキー 技術選手権大会	2月23日 ～2月24日	長野県 Mt乗鞍スキーリゾー ト	8名	全国の聴覚障害者の 45名	178
聴覚障害者への スキー啓発・広報	ホームページを通じて、活動 内容を不特定多数の方に紹介 また情報交換の場として、機 関誌などの発行、総会の開催	通年	事務所	5名	不特定多数	40

平成24年度 活動計算書

平成24年6月1日から平成25年5月31日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会
(単位:円)

	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員 入会金	2,000	
正会員 年会費	58,000	
賛助会員		
2 受取寄附金		
受取寄附金	10,000	
3 受取助成金等		
受取補助金		
4 事業収益		
スキー指導に関する事業収益	4,940,100	
大会開催に関する事業収益	140,000	
啓発・広報に関する事業収益	259,500	
5 その他収益		
受取利息	630	
準備金	30,000	
立替金	8,110	
調整金	19,000	
債務免除益		
経常収益計		5,467,340
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
人件費計	0	
(2)その他経費		
什器備品費		
水道光熱費		
旅費交通費	3,241,037	
賃借料	1,615,380	
業務委託費	74,000	
消耗品費	16,121	
雑費	208,199	
会議費	42,600	
通信運搬費	32,350	
保険料	40,034	
印刷製本費	25,697	
支払手数料	3,214	
準備金	30,000	
その他経費計	5,328,632	
事業費計		5,328,632
2 管理費		
(1)人件費		
人件費計	0	
(2)その他経費		
什器備品費		
水道光熱費		
旅費交通費		
賃借料		
業務委託費		
消耗品費	669	
雑費		
会議費		
通信運搬費	26,440	
保険料		
印刷製本費	8,484	
支払手数料		
渉外費	4,000	
その他経費計	39,593	
管理費計		39,593
経常費用計		5,368,225
当期経常増減額		99,115
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		99,115
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		99,115
前期繰越正味財産額		2,212,041
次期繰越正味財産額		2,311,156

平成24年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

2.

(単位:円)

科 目	スキー指導に関する事業	スキー指導に関する事業	大会開催に関する事業	啓発・広報に関する事業	管 理 部 門	合 計
	ジュニア指導	ジュニア/グループ指導	技術選手権大会	平成24年度定期総会	一般会計	
I 経常収益						
1 受取会費						
正会員 入会金					2,000	2,000
正会員 年会費					58,000	58,000
賛助会員						
2 受取寄附金						
受取寄附金		10,000				10,000
3 受取助成金等						
受取補助金						
4 事業収益						
スキー指導に関する事業収益	3,917,500	1,022,600				4,940,100
大会開催に関する事業収益			140,000			140,000
啓発・広報に関する事業収益				259,500		259,500
5 その他収益						
受取利息	170				460	630
前受金						
準備金			30,000			30,000
立替金					8,110	8,110
調整金	100				18,900	19,000
経常収益計	3,917,770	1,032,600	170,000	259,500	87,470	5,467,340
II 経常費用						
1 事業費						
(1) 人件費						
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
什器備品費						
水道光熱費						
旅費交通費	2,061,150	964,690	102,197	113,000		3,241,037
賃借料	1,525,780	3,600	2,000	84,000		1,615,380
業務委託費	74,000					74,000
消耗品費	16,101			20		16,121
雑費	74,017	37,494	43,860	52,828		208,199
会議費	42,600					42,600
通信運搬費	29,070	3,000		280		32,350
保険料	27,707	12,327				40,034
印刷製本費	25,697					25,697
支払手数料	3,214					3,214
諸謝礼						
準備金			30,000			30,000
渉外費						
その他経費計	3,879,336	1,021,111	178,057	250,128	0	5,328,632
事業費計	3,879,336	1,021,111	178,057	250,128	0	5,328,632
2 管理費						
(1) 人件費						
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
什器備品費						
水道光熱費						
旅費交通費						
賃借料						
業務委託費						
消耗品費					669	669
雑費						
会議費						
通信運搬費					26,440	26,440
保険料						
印刷製本費					8,484	8,484
支払手数料						
渉外費					4,000	4,000
その他経費計	0	0	0	0	39,593	39,593
管理費計	0	0	0	0	39,593	39,593
経常費用計	3,879,336	1,021,111	178,057	250,128	39,593	5,368,225
当期経常増減額	38,434	11,489	-8,057	9,372	47,877	99,115

平成24年度 貸借対照表

平成25年5月31日現在

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

(単位：円)

科 目	金 額		
1 流動資産			
現金預金	2,215,156		
未収収益	100,000		
流動資産合計		2,315,156	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,315,156
II 負債の部			
1 流動負債			
前受会費	4,000		
預かり金	0		
流動負債合計		4,000	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			4,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,212,041	
当期正味財産増減額		99,115	
正味財産合計			2,311,156
負債及び正味財産合計			2,315,156

平成24年度 会計財産目録

平成25年5月31日現在

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

(単位:円)

科 目	金 額	
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	0	
銀行普通預金		
(1) ゆうちょ銀行 〇一八支店	318,798	
(2) 三菱東京UFJ銀行 日野豊田支店	324,270	
(3) みずほ銀行 日野支店	665,688	
定期預金		
(1) みずほ銀行 日野支店	1,006,400	
未収金		
事業未収金	0	
流動資産合計		2,315,156
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		2,315,156
II 負債の部		
1 流動負債		
前払会費	4,000	
流動負債合計		4,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		4,000
正味財産		2,311,156

監査報告書

特定非営利活動法人 全日本聴覚障害スキー指導員会

会長 土師 比佐夫 殿

平成24年度（平成24年6月1日から平成25年5月31日まで）における、特定非営利活動法人 全日本聴覚障害スキー指導員会の財産の状況および業務執行の状況について監査を行った結果、活動計算書、貸借対照表、計算書類の注記、財産目録はいずれも正確に記載されており、財産の管理等業務執行は法令、定款に従い適切になされているものと認めます。

平成25年6月9日

特定非営利活動法人 全日本聴覚障害スキー指導員会

監事 呉竹 一人 

監事 川上 典男 

平成25年度 事業計画書

平成25年 6月 1日から平成26年 5月31日まで

1. 事業実施の方針

前年度からの事業を継続する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
スキー指導に関する事業	第7回 デフわんぱくスキー教室	1月17日 ～1月19日	長野県 菅平高原スキー場	30名	全国の聴覚障害児の約70名	3,720
同上	神戸聴覚特別支援学校 スキー教室派遣	未定 (1月又は2月)	兵庫県 神鍋スキー場	3～5名	神戸聴覚特別支援学校 高等部 約15名	0
同上	川崎ろう学校中等部移動教室	2月初旬予定	山梨県ふじてん スノーリゾート	2名	川崎ろう学校 中等部の約10名	0
同上	第11回 西日本ブロックスキー講習会 (兼デフわんぱくスキー教室)	1月11日 ～1月13日	石川県 一里野温泉 スキー場	10名	西日本在住の聴覚障害児・者の約40名	1,000
同上	岡山ろう学校スキー教室	2月5日 ～2月7日	鳥取県 だいせんホワイト リゾートスキー場	3名	岡山ろう学校 高等部 11名	0
全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の開催事	第16回 全日本聴覚障害スキー技術選手権大会	2月22日 ～2月23日	長野県 Mt乗鞍スキーリゾート	8名	全国の聴覚障害者の約50名	200
聴覚障害者へのスキー啓発・広報	ホームページを通じて、活動内容を不特定多数の方に紹介 また情報交換の場として、機関誌などの発行、総会の開催	通年	事務所	5名	不特定多数	250

平成25年度 活動予算書

平成25年6月1日から平成26年5月31日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会
(単位：円)

	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員 入会金	1,000	
正会員 年会費	194,000	
賛助会員		
2 受取寄附金		
受取寄附金		
3 受取助成金等		
受取補助金		
4 事業収益		
スキー指導に関する事業収益	3,720,000	
大会開催に関する事業収益	200,000	
啓発・広報に関する事業収益	250,000	
5 その他収益		
受取利息		
準備金		
立替金		
調整金		
経常収益計		4,365,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
什器備品費		
水道光熱費		
旅費交通費	2,700,000	
賃借料	1,100,000	
業務委託費	100,000	
消耗品費	50,000	
雑費	100,000	
会議費	50,000	
通信運搬費	30,000	
保険料	30,000	
印刷製本費	25,000	
支払手数料	3,000	
準備金	20,000	
その他経費計	4,208,000	
事業費計		4,208,000
2 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
什器備品費		
水道光熱費		
旅費交通費		
賃借料		
業務委託費		
消耗品費	20,000	
雑費		
会議費		
通信運搬費	25,000	
保険料		
印刷製本費	10,000	
支払手数料		
渉外費	5,000	
その他経費計	60,000	
管理費計		60,000
経常費用計		4,268,000
当期経常増減額		97,000
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		97,000
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		97,000
前期繰越正味財産額		2,311,156
次期繰越正味財産額		2,408,156